



産直ニュース（農・畜・水産）

2週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。

生活クラブ関西

*よやく・る 果物類のお届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協 事業所	大阪					京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良	滋賀
2週	みかん⑫					スイートスプリング①			
	ふじ⑦		いちごA登録			予約いちご①			
3週	スイートスプリング②					早生不知火①			キウイ①
	ふじ⑧		いちごB登録			予約いちご②			
4週	スイートスプリング③					早生不知火②		伊予柑	キウイ②
	ふじ⑨		いちごA登録			予約いちご③			
5週	早生不知火②					ポンカン①		キウイ③	
	ふじ⑩		いちごB登録			予約いちご④			

*(!)は調整の可能性有ります。 *カタログ注文青果は除きます。

お知らせ 産地情報

2023年あけましておめでとうございます！ 本年も宜しくお願いします！

■スイートスプリング 規格価格変更

不作であるうえに品質不良が多いため、収穫量が大幅に減少しています。

規格を2kgから1kgに変更し、価格を864円(税込)から432円(税込)に修正してお届けしています。2回目以降も規格を変更してお届けする場合があります。

◇佐伊津有機農法研究会からの情報

スイートスプリングはこれまで見られなかった「隔年結果」が近年出てきた様で、表年(たくさん実が着く)裏年(実が少ない)の現象が見られ始めました。今期は落花が全体的に多く着果のバラつきも多いようです。また、近年「カイガラ虫」も、温暖化で卵の数(産む回数)が増えて被害に苦慮しているそうです。↓

早生不知火はやや着果にバラツキがありますが、量は平年並みで受注分の確保は大丈夫と思います。

少し心配なのは、温州ミカンの収穫が終わりオレンジ色の果実が周辺で少なくなる為、年末からはどうしても不知火が狙われることです。毎年、ヒヨドリの食害とカラスの食害に悩まされています。

天草は車エビの養殖が盛んな地域で、年末の出荷が終わり養殖池の水が抜かれるとカラスが集まり、干上がった池でゴカイなどを食べに来るついでに不知火も食べられるそうです。カラスにとっては寒い時期の貴重な餌場?になっているようで増加傾向です。



←最後は、河内晩柑の写真。

今年を着果量も昨年よりも多く、今のところ豊作です。12月下旬でこのくらい落果がおきています。4月中旬の収穫開始までは、天候の加減で大量の落果の恐れもあり、落ちない事を祈るしかありません。

農家にとって、収穫するまでは花が咲く時期から「無事に実をつけるか?」「雨は程よく降るか?」「台風は大丈夫か?」...etc 自然を相手にどうすることもできない心配事を経てやっと収穫を迎えます。

それまでの栽培努力や収穫までの天候を思い描きながら、味わいたいですね…。

